

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	多摩区第3グループ(菅・中野島・南菅)	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	多摩区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 菅こども文化センター ①年間延べ利用者数 23,269人 ②年間延べ利用団体数 204団体</p> <p>2 菅小学校わくわくプラザ ①登録者数 320人 ②年間延べ利用者数 14,177人</p> <p>3 東菅小学校わくわくプラザ ①登録者数 236人 ②年間延べ利用者数 16,583人</p> <p>1 中野島こども文化センター ①年間延べ利用者数 36,040人 ②年間延べ利用団体数 487団体</p> <p>2 中野島小学校わくわくプラザ ①登録者数 391人 ②年間延べ利用者数 16,006人</p> <p>3 下布田小学校わくわくプラザ ①登録者数 253人 ②年間延べ利用者数 13,267人</p> <p>1 南菅こども文化センター ①年間延べ利用者数 20,314人 ②年間延べ利用団体数 358団体</p> <p>2 南菅小学校わくわくプラザ ①登録者数 146人 ②年間延べ利用者数 6,245人</p> <p>3 西菅小学校わくわくプラザ ①登録者数 136人 ②年間延べ利用者数 9,618人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 153,317,974</p> <p>2 支出 人件費 130,154,373 事業費 7,728,480 事務経費 14,232,056 その他経費 226,413 合計 152,341,322</p> <p>3 差引 976,652</p>
サービス向上の取組	今年度は保育園・中学校・高等学校といった教育機関との連携が進んだ。利用者ニーズや要望を事業実施に反映させている。行事の実施日を考慮したり、授乳スペース・オムツ替えスペース・飲食スペースといった館内の整備も、利用者の声から生まれている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 菅こども文化センターでは農地が残る地域性を活かして、「じゃがいも掘り」や「なし狩り」などを農家の方の協力を得て実施した。また、「わいわいお楽しみ会」では、老人いこいの家のフォークダンスクラブとこども文化センターのヒップホップクラブが共演した。中野島こども文化センターでは、長年継続している「お話コンサート」を隔月で実施して、世代間交流の場ともなっている。中学生向けに「トワイライトコンサート」も実施した。また、子どもの意見で結成された「中野島ロックソーラン隊」も活躍できた。支援を要する児童も積極的に行事に参加することができた。南菅こども文化センターでは、乳幼児対象に「きらきらKIDSみなみっこ」を実施して、地元の中学生の参加もあった。「6校わくわくプラザ対抗ドッジボール大会」では、145名という昨年度を大きく上回る参加者で、わくわくプラザの団結力が強まった。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
<p>(評価の理由) 金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。経費の縮減にも具体的な取組みがあった。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 地域と一体となって事業展開を行っているが、今年は特に教育機関との連携が進んでいる。特別支援学級と情報交換の場を持つたり、災害時の対応をわくわくプラザの対応を含め小学校と協議したり、中・高等学校に「たより」の掲示や配布を行った。また、保護者懇談会で子どもの活動ビデオの放映・写真や感想の掲示を行ったところ出席者が3割増となったわくわくプラザがあった。利用者の要望もよく採り入れており、菅こども文化センターでは授乳スペースやオムツ替えスペースを設けたり、南菅こども文化センターでは飲食スペースを拡大して乳幼児の利用者に配慮した。行事の開催日なども利用者に配慮している。地域との連携もよく、近隣農家の協力を得て行事を行ったり、利用促進のための「おたより」等の掲示依頼も町内会をはじめ、郵便局・銀行・スーパー・コンビニなどにも依頼して広報活動を幅広く行っている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおり人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザ共に、提案どおり適正な配置がなされていた。研修は財団主催研修並びに各館ごとの実施研修ともに、計画的に実際に活かせる研修を行っている。行事ごとに担当館を決めて研修を受け持ち、参加者のスキルアップに繋げた。個人情報保護に関しても、規定・体制等が整備され、トラブルはなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3
	事故等が発生した場合に適切な対応をしているか				
	感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか				
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 消防設備(誘導灯、感知器)に破損防止器具を設置した。わくわくプラザでは、児童用ビブスを購入して安全確保に努めた。また、配水管の高圧洗浄等により衛生面の向上を図った。職員・臨職へのインフルエンザ予防接種費用補助を行い感染症予防対策に努めている。更に利用者の安全や災害時の対応に配慮した備えを常に準備しており、適正な業務を遂行している。第3グループでは、特別支援学級と情報交換の場を設けたり、保護者懇談会で参加者の増加を図ったり、広報活動を町内会を始めとした郵便局・銀行・スーパー・コンビニなど様々な機関に幅広く行うなど、「サービス向上及び業務改善」への地道な努力が評価できる。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

財団のスケールメリットを活かした人員配置、経費削減、また、公益法人としての収支相償の会計原則の厳守による剰余金での環境整備など、運営面においては安定的な執行がなされている。

また、各館が培ってきた地域住民や関係機関との連携も非常に良好で、今後も地域一体となった運営が期待できる。

更に利用者の安全や災害時の対応に配慮した備えを常に準備しており、適正な業務を遂行している。

第3グループでは、特別支援学級と情報交換の場を設けたり、保護者懇談会で参加者の増加を図ったり、広報活動を町内会を始めとした郵便局・銀行・スーパー・コンビニなど様々な機関に幅広く行うなど、「サービス向上及び業務改善」への地道な努力が評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

収容人員が多いわくわくプラザなど、環境が厳しい施設もあるため、引き続き安全等に十分配慮した運営を心がけていただきたい。

また、利用者のニーズ等に応じて、サービス向上に努めていただきたい。